

## 運転保守状況（備考欄）

### 1号機

#### ●原子炉再循環系配管等の点検状況について

12月17日から原子炉再循環系配管等溶接部69箇所について、超音波探傷検査による点検\*<sup>1</sup>を実施していたところ、1月18日、A-原子炉再循環系配管の溶接継手部1箇所に、ひびを確認。

今後、ひびの長さ、深さ等の詳細調査を行ったうえで必要な処置を実施する。

なお、残りの箇所についても、超音波探傷検査を継続して実施する。

(中国電力(株)公表済)

- \*1 平成21・11・18原院第1号「発電用原子力設備における破壊を引き起こすき裂その他の欠陥の解釈について(内規)」に基づく検査

2月4日、当該溶接継手部のひびについて寸法測定等を実施した結果、長さ547ミリメートル、深さは最大5ミリメートルであることを確認。

今後、当該溶接継手部について、健全性評価を実施する。

また、残りの箇所についても、引き続き、超音波探傷検査を実施する。

その後、当該溶接継手部の現時点での健全性について、現在のひびの長さ、深さをもとに評価した結果、必要な強度を満たしていることを確認。

今後、一定期間運転を継続した場合の健全性評価\*<sup>2</sup>を実施し、継続使用の可否を確認する。

(中国電力(株)公表済)

- \*2 一定期間運転した後のひびの進展量を予測し、「(財)日本機械学会 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008」に基づき、予測したひびの長さ、深さで必要な強度を満たしているかどうかを評価すること

2月17日、残りの箇所についても、引き続き、超音波探傷検査を実施していたところ、A-原子炉再循環系配管の溶接継手部1箇所に、新たなひびを確認。

当該溶接継手部についても、今後、ひびの長さ、深さ等の詳細調査を行ったうえで必要な処置を実施する。

(中国電力(株)公表済)